



ワークショップ「防災パレットinかつしか」2015 報告

- 産院で使用されている沐浴剤について
- 災いが帰ってくる: アパラチアの黒色肺
- 集会「スマートメーターは要らない!」開催
- グルテン過敏症・害と危険
- 再生可能エネルギーと水による地域循環型エネルギーのかたち



市民研へのご入会／ご寄付のご案内

この『市民研通信』に紹介されている記事論文など、市民研の活動成果は、どなたであっても無償で読んでもらえるように、ホームページですべてを公開しています。市民研では、こうした非営利・完全公開の趣旨に賛同し支えてくださる方々に、ご入会やご寄付をお願いしています。

入会と寄付に関しては3つの選択があります。

1.ワンコインサポート 500円を市民研に送金することで市民研を支えるやり方です。

入金と同時に「3ヶ月間のお試し会員」になることができます。「お試し会員」を希望される場合はその旨をお伝えください。関連資料を送付いたします。希望されない場合は、ご寄付として扱わせていただきます。

2.会員登録 年会費を送金して次のいずれかの会員になることができます。

- ★レイチェル会員………年会費 10,000円 (総会における議決権あり)
- ★ダーウィン会員………年会費 3,000円

会員になると、

- 『市民研通信』+別刷論文1編が隔月で送付されます。
- 過去の市民科学講座などの配布資料をPDFでダウンロードすることができます。
- 事前に連絡をいただければ各研究会にskype参加ができます。
- 市民科学講座などイベントのu-streamの予告お知らせが届けられます。
- 市民研メーリングリストならびに各研究会メーリングリストに参加できます。
- 市民研所蔵の書籍、映像資料が利用できます。

3.寄付 一口1,000円から受け付けております。

※ご送金の方法:以下の3つのいずれかでお願い致します。(市民研ホームページからも受け付けています)

郵便振替……………口座加入者名:市民科学 振替口座番号:00160-4-608503

銀行口座……………三菱東京UFJ銀行 本郷支店 普通預金口座:4592759

口座名義:特定非営利活動法人市民科学研究室

PayPal (2016年5月末のホームページリニューアルを機に新しいオンラインシステムに移行します)

Event

2015年度総会を5月22日(日)に実施します

レイチェル会員の皆様は、出欠の旨、返信用ハガキにてお知らせいただきますようお願い申し上げます(総会の成立にはレイチェル会員の3分の2の出席もしくは委任が必要となります)。ダーウィン会員の皆様は、議決権はございませんが、記念イベントを含めまして、ご参加いただけますと幸いです。

なお、総会の議案書を同封いたしましたので、お目通しいただければと思います。

5月22日(日)@市民科学研究室事務所にて
14:00-15:00 NPO法人市民科学研究室・2015年度総会
15:00-16:00 記念イベント「まちの魅力を再発見する一文京建築会ユースの活動から」
ゲスト講師:栗生はるか(文京建築会ユース・リーダー)
16:00-17:30 懇親会

*記念イベント、懇親会はどなたでも参加できます(定員20名)。どちらも参加費は無料です。参加希望者は必ず事前に市民科学研究室にその旨をご連絡ください。

●文京建築会ユース

2011年に結成された、東京都文京区に在勤・在住の建築や都市を専門とする若手による有志団体。地域の見過ごされがちな魅力を建築的視点から再発見し、その価値を共有するために様々な角度から発信や活用の提案をしている。2014年、文の京・都市景観賞「景観づくり活動賞」受賞。現在、ドキュメンタリー映画「ご近所のぜいたく空間・銭湯」を製作中。



Information

生活習慣病対策ゲーム「ネゴバト」 ゲームパッケージが完成!



市民科学研究室の「科学コミュニケーションツール研究会」が、最初のアイデア作りから数えて、6年をかけて試作・試演してきた「ネゴバト」のゲームパッケージが完成しました。2016年度ならびに2017年度にかけて、このゲームパッケージを実際に使ってモニターとしてその実施報告を寄せてくださる方々に送料のみご負担いただく形で提供したいと考えています。

ゲームを試してみたい方は、まずは「ネゴバト」専用ホームページに掲げている「ネゴバトの遊び方」動画をご覧ください。そのうえで、どのような場・機会に使ってみたいのかを市民科学研究室に電話もしくはメールでご連絡ください。お話を伺ったうえで、パッケージを送らせていただきます。



市民科学研究室ホームページ右上の「ネゴバト」バナー→ネゴバトホームページへ 動画を公開中

Event

市民科学講座Bコース

2015年7月から始まった市民科学講座Bコース。第1期は2015年7月から2016年8月までの1年間で、全14回です。

第11回 6月29日(水)

中田哲也さん、私たちの食べものや農業はこの先どうなっていくのでしょうか?

「飽食」とも呼ばれるほど表面上は豊かな現在の私たちの「食」。しかし、栄養バランスの乱れ、食に対する不安感の増大、自給率の低下、食を支える国内農業の脆弱化など、多くの問題を抱えています。

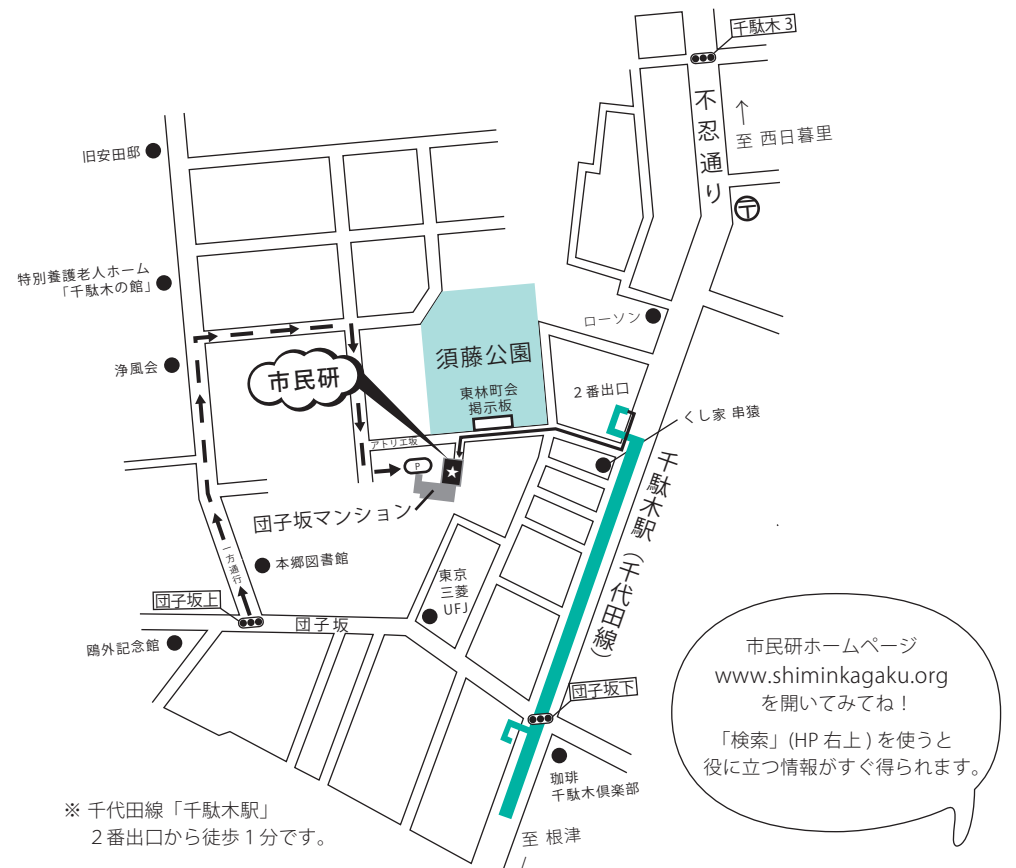
より豊かな未来の食の実現に向けて「フード・マイレージ」という指標をヒントに、一緒に考えてみたいと思います。



1960年徳島市生。岡山大学農学部卒業後、農林水産省に入省。農林水産政策研究所、九州農政局等を経て、現在、統計部数理官。この間、千葉大学大学院園芸学研究科を修了(博士・農学)。著書に「フード・マイレージ あなたの食が地球を変える」(2007、日本評論社)など。
(参考)ウェブサイト「フード・ノイレーズ資料室」

時間 19:00-21:30 (18:30開場)
場所 光塾COMMON CONTACT並木町
参加費 1000円(学生500円)

⇒事前予約が必要です(定員40名先着順、申し込みは市民研ホームページより)



〒113-0022 東京都文京区千駄木 3-1-1 団子坂マンション公園側棟 ☎ 03-5834-8328 / fax. 03-5834-8329

renraku@shiminkagaku.org / www.shiminkagaku.org

NPO法人 市民科学研究室

ワークショップ「防災パレット in かつしか」 2015年の実施報告ができました

1995 年1 月に兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）が起きてから日本列島は地震活動期に入ってきたと言われています。2011 年3 月には東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）が起き、またしても多くの方々の命が失われました。さらには東南海・南海地震という巨大地震が起これと懸念されています。首都圏では特に首都圏直下で起きる東京湾北部地震が想定されています。このような状況から、小さいお子様をお持ちのご家族の防災を共に考え、備えていくことを目的に、私たちは2014 年に世田谷で防災のワークショップを開始し、2015 年には葛飾区で防災のワークショップを3 回開催してきました。

この“防災パレット in かつしか”は、市民と地域のNPO や自治体と一緒に取り組む防災ワークショップです。市民科学研究室「市民と防災研究会」とbabycom が共催し、葛飾区地域振興部防災課をはじめ、助産師のNPO「さんばはうす葛飾」、防災ラジオを運営する「かつしかエフエム」の方々にご協力をいただき実現することができました。



⇒報告書は市民研 HP で

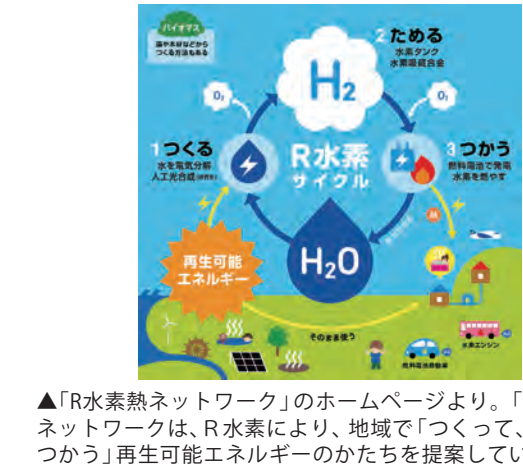
この防災ワークショップは地域の特性や主催者側の事情に応じて、臨機応変に形を変えながらいろいろな場で実施することができます。9月14日(水)には世田谷のある小学校で「単位PTA研修」としてショートヴァージョンで実施します。また、文京区にある駒込大観音光源寺で行われる毎年恒例の「ほおずき千成り市」(7月9日、10日)というお祭りに「防災ブース」を出展することが決まっています。

書評：江原春義 著『R 水素 RENEWABLE HYDROGEN 再生可能エネルギーと水による地域循環型エネルギーのかたち』

ここ 2～3 年、急激に日本国内で注目されている水素エネルギーについてだが、いざ解説している本となると意外に少ないことに驚かされる。確かに『水素エネルギー白書』などのように専門的な書は散見されるが、ここまで実例の写真やシンプルな図解を多用し世間一般の人々に向けて分かり易く発信されている書は私の知る限りにおいて皆無である。その意味において本書が示す水素の未来社会へのイメージが与える影響は大きいものになる可能性がある。同時にそれはその指し示す内容次第によっては今後の社会形成に少なからず影響を及ぼしかねないという危惧をも孕む。

筆者らはオセロゲームのように再生可能エネルギー主体への社会への速やかな移行への希望的観測を述べている。果たして本当にそうなるだろうか。

本書で述べられているハワイ島で実験的に導入されている水素牧場のように島嶼（とうしょ）などの離島における水素の存在意義は確かに大きいと言えるだろう。



▲「R水素熱ネットワーク」のホームページより。「R 水素ネットワークは、R 水素により、地域で「つくって、ためて、つかう」再生可能エネルギーのかたちを提案しています。」

産院で使用されている沐浴剤について ～新生児の沐浴に関するアンケート調査 2016年4月～



私たちは有害な化学物質を使用しないように働きかけをし、排除することで小さないのちと水環境を守る活動を続けていくことを主旨とした「きれいな水といのちを守る東日本連絡会」という団体です。その活動の中で3 年ほど前から総合病院・産婦人科・産院・助産院などに沐浴剤についてのアンケート調査のご協力をお願いしてきました。それは近年、赤ちゃんが出産の時に羊水からシャンプーの香りがするとか、母乳を分析したところ、人工香料の汚染が初めて確認されたり、母乳中に合成香料が検出されるなど、胎盤や授乳を介してこれらの物質が母子間移行するなど、乳児への化学物質の影響が懸念されるということがわかったからです。それと同時に生まれたての赤ちゃんが産院にいる間に合成洗剤の沐浴剤で洗われているという事態をつかむことができたため現状を把握し、今後の活動に活かしていきたいと思いました。

⇒続きは市民研 HP で

【翻訳】グルテン過敏症―害と危険 Gluten intolerance, hazards and risks GreenFactsのウェブサイト掲載記事より

はじめに

グルテンは小麦のほか、大麦・ライ麦その他の穀物にふくまれる、蛋白質の混合物である。遺伝的素因をもつ一部の人々（アメリカでは全人口の約1パーセント）が、グルテンに曝露するとセリアック病を発症する。セリアック病は小腸に生じる恒久的な知覚過敏反応であり、ある種の自己免疫皮膚炎をもひきおこしうる。

グルテンとはなにか

グルテンは貯蔵蛋白質の複雑な混合物からなる小麦の成分である。類似の蛋白質は大麦とライ麦にもみられる。専門的には小麦粉の蛋白質だけがグルテンとよばれるが、大麦やライ麦の蛋白質も知覚過敏反応をひきおこすので、セリアック病に関する文脈ではそれらも「グルテン」としてあつかわれる。小麦・ライ麦・大麦・ライ小麦・オーツ麦を原料とする食品に関して、単に「蛋白質」をふくむといえば、グルテンもふくむかもしれないということを意味する。

セリアック病を発症した敏感な個人であっても、中程度（たとえば1日50から70グラム）のオーツ麦摂取には耐性をもつが、多くのオーツ麦製品は、栽培・収穫・輸送・貯蔵・加工中の相互接触からくる、小麦・ライ麦・大麦の微量成分をふくんでいる。……



⇒続きは市民研 HP で

集会「スマートメーターは要らない！」開催

集会「スマートメーターは要らない！ー健康影響、プライバシー侵害を考える」が2月27日、電磁波問題市民研究会（電磁波研）主催、市民科学研究室協賛で都内にて開かれ、81人が参加しました。電磁波研事務局の網代がスマートメーターとその問題点について解説した後、電磁波研事務局の鮎川哲也さんが、大阪府の東麻衣子さんのマンションで行ったスマートメーターの電磁波測定結果を報告。次に、東さんが、自宅マンションに設置されたスマートメーターで健康被害を受けて自宅に住めなくなり、自宅及び両隣のスマートメーターをアナログメーターに交換させて再び自宅に住めるようになるまでのことについて、わかりやすくご報告くださいました。続いて、電磁波研事務局の渡邊幸之助さんが、自宅にスマートメーターを設置してから、アナログメーターへ戻されるまでの闘いについて報告しました。最後の質疑応答では、熱心な質問が相次ぎました。

ここでは、網代の報告の概要を紹介させていただきます。

⇒続きは市民研 HP で



【翻訳】災いが帰ってくる:アパラチアの黒色肺 A Scourge Returns: Black Lung in Appalachia Environmental Health Perspectives 124巻1月号、2月号、3月号より(2016年)より

● 災いが帰ってくる:アパラチアの黒色肺
A Scourge Returns: Black Lung in Appalachia by Carrie Arnold

……1970年代初頭には、石炭労働者塵肺症、または黒色肺が地下で長い期間働いていた炭鉱労働者のおおよそ三分の一に襲いかかっていた。新しい粉塵規制が効果を発揮するようになると、黒色肺の拡がる速度は急落した。ところが、今日、その速度は再び劇的に上昇し、そればかりか新しい世代の黒色肺の患者が以前よりもっと早く進行する疾病を抱えている。……

● 一度のスキャンダルを超えてーヨーロッパで進行中のディーゼル公害の問題
Beyond a One-Time Scandal: Europe's Ongoing Diesel Pollution Problem by C. W. Schmidt

……ヨーロッパの乗用車の半数以上はディーゼル車である。EUはここ数十年間に車の排気量を徐々に厳しくしてきたが、新しいディーゼル車はいまだに最近の基準値をはるかに超えた窒素酸化物を路上に排気している。ディーゼル車の排気量を減らす努力は車のコストを上げていくであろう。しかし専門家はそれをできるし、やらなければならないと述べている。……

● 健康な大地, 健康な大気 地球の土壌の再炭素化
Healthy Ground, Healthy Atmosphere: Recarbonizing the Earth's Soils by Nancy Averett

……農業の夜明け以来、世界の土壌は何10億トンの炭素を大気中に失ってきた。研究者は、現在、地球の土壌を被覆作物、不耕起栽培、そしてバイオ炭で土壌を肥やす方法を用いて地球の土壌プールを再炭素化する方法に注目している。……

● アジアにおける炎症性腸疾患 (IBD) :環境要因を明らかにする二度目のチャンス
Inflammatory Bowel Disease in Asia: A Second Chance at Uncovering Environmental Factors by Lindsey Konkell

……研究者たちは西洋の食事とライフスタイルの導入がアジアにおけるIBDの増加を説明する手助けになると考えている。食事は個人の腸のマイクロバイーム(微生物群)の性質の変動主要因であり、それは引き続いてIBDに対する感受性に重要な役割を果たすかもしれない。……